

# 福岡市地球温暖化対策実行計画施策の取組状況一覧【2022年度（令和4年度）】

## 1. 家庭部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1) 脱炭素型 ライフスタイルへの移行	①脱炭素型 ライフスタイルの きっかけづくり	地球温暖化対策等広報・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で手軽にできる脱炭素行動や温室効果ガス削減効果の大きい行動等の広報啓発として、市政だより7/1号とあわせて「チャレンジ！脱炭素社会～持続可能な未来へ～」を全戸配布</li> <li>「エコ・ウェイブ・ふくおか会議」を4月に開催し、脱炭素社会を目指して、温暖化対策や省エネに向けた共通の取組み目標である「エコ・ウェイブ・ふくおか会議 行動宣言2022」を策定</li> </ul>
		出前講座	「地球温暖化対策」、「再生可能エネルギー」、「緑のカーテン」をテーマに出前講座を実施 実施件数：28件、受講者数：533人
		温暖化防止ワークショップ事業	温暖化防止ワークショップの実施 回数：18回（参加人数 345人）
		福岡市環境行動賞	環境保全・創造に貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体・学校・事業者を表彰するとともに、受賞者の活動を広く市民に発信 表彰式：令和4年6月9日 アクロス福岡にて実施 表彰者：〔大賞〕1件、〔最優秀賞〕1件、〔優秀賞〕6件、〔特別賞〕2件、〔みらいチャレンジ賞〕3件、〔奨励賞〕表彰状3件、感謝状75件
		水素リーダー都市プロジェクト	市民が参加するイベントに移動式発電・給電システム「Moving e」を活用するなど、水素エネルギーの普及啓発を実施 イベント数：14件
		ECOチャレンジ応援事業	電気やガスの使用量削減、家庭用LED照明の購入などのエコアクションに対して、交通系ICカードのポイントをインセンティブとして付与 ポイント付与：14,816,180ポイント（参加世帯：4,418世帯）
	②農水産物の 地産地消の推進	「ふくおかさん家のうまかもん」つながるプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡市内産農林水産物及びその加工食品を提供又は販売する事業者を認定し、HPで紹介（令和4年度末認定事業者数785件）</li> <li>市内産農林水産物を積極的に使用しPRを行っている認定店を市が表彰、広報する「ふくおかさん家のうまかもん」アワードを実施</li> <li>公式ホームページのリニューアル</li> <li>学生によるうまかもんの生産現場・生産者の取材、レシピ開発、動画制作、SNSを活用した広報の実施</li> </ul>
	③脱炭素に関する 理解促進	環境教育副読本 地球温暖化(脱炭素社会の実現)に関する冊子の作成 環境わくわく出前授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育副読本などによる啓発</li> <li>「わたしたちのまちの環境」市内全小学5年生に配布 17,000部</li> <li>「ごみとわたしたち」市内全小学4年生に配布 16,700部</li> <li>ホームページへ掲載</li> <li>環境わくわく出前授業（講師派遣事業） 実施回数：43回</li> </ul>
		保健環境学習室まもる一む福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館者数：5,879人</li> <li>【個人・団体別】 個人：4,440人、団体：1,439人</li> <li>【大人・子ども別】 大人：2,802人、子ども：3,077人</li> <li>教材等貸出 444人・1246件</li> </ul>

1. 家庭部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(2) 住宅の 省エネルギー化	①新築住宅の 省エネルギー化の 推進	「住まいづくりの手引き」等による 広報・啓発	省エネルギー対策など住まいづくりのポイント、助成制度などに関する情報をまとめた「住まいづくりの手引き」を配布 (900部発行)
		低炭素建築物認定	低炭素建築物認定件数:179件
	②既存住宅の 省エネルギー化の 推進	「住まいづくりの手引き」等による 広報・啓発 (再掲)	※再掲 1-(2)-①
		住宅窓の改修に関する広報・啓発	・「住宅窓改修の手引き」を活用した広報啓発(情報プラザでの配布等) ・市政だより、福岡市情報プラザ通信、市HPなどによる情報発信
(3) 省エネルギー 機器の導入	①省エネルギー機器の 普及啓発	HP・市政だより等による広報、手法の 導入紹介	市政だより 7/1号とあわせて「チャレンジ！脱炭素社会～カーボンニュートラルを実装した都市をめざして～」を 全戸配布
		HP・市政だより等による広報、手法の 導入紹介	HPIによる広報
	②住宅用省エネルギー 設備等の導入支援	住宅用エネルギーシステム導入促進 事業	「エネルギーを創って貯めて賢く使う」自家消費型の住宅用エネルギーシステムの普及促進のため、導入費用の 一部を助成 導入が図られたシステム数：1,467基 (太陽光発電267基、家庭用燃料電池 281基、HEMS455基、蓄電池 440基、V2Hシステム24基)
(4) 再生可能 エネルギーの 利用拡大	①住宅への太陽光発電 や蓄電池の導入推進	住宅用エネルギーシステム導入促進 事業(再掲)	※再掲 1-(3)-②

2. 業務部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1) 脱炭素経営 への移行	①脱炭素経営の啓発	事業所の脱炭素に向けた啓発・調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「事業所省エネ計画書制度」参加事業所に提案した効果的な省エネの取組みを、市HP上で発信</li> <li>・各事業所の脱炭素への取組み状況や課題等を把握するための調査委託を実施</li> <li>・脱炭素に向けたシンポジウム「脱炭素推進シンポジウム2022 ～福岡・九州の強みを活かした脱炭素経営とESG 投資推進に向けて～」を開催(参加者:333名)</li> </ul>
		事業所の省エネ支援事業	事業所の自主的・計画的な省エネの取組みを推進するため、専門家派遣による省エネ最適化診断や省エネ計画書を提出した事業所に対して市が省エネサポートを実施。 参加事業所総数:41件
		事業所の脱炭素に向けた啓発・調査	※再掲 2-(1)-①
		エコアクション21取得支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション21(以下、EA21という)普及・導入セミナーの実施(福岡県・久留米市と合同開催)</li> <li>・EA21取得を目指す事業者に対し、EA21審査員を講師として、集合コンサルティングを無料で実施(福岡県と合同開催)</li> <li>・社会貢献優良企業の受付(R4年度205件受付、うちEA21取得企業分は97件)</li> </ul>
		サステナブルツーリズム推進事業	CO <sub>2</sub> 排出量の抑制や環境保全に資する旅行商品のモデル構築(モデルツアー実施件数:5件) モデルツアー実施時のCO <sub>2</sub> 排出量抑制やノウハウ等を取りまとめた事例集を作成 【事例集】 <a href="https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/marketing/business/sustainable_jirei.html">https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/marketing/business/sustainable_jirei.html</a>
	海辺を活かした観光振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西戸崎渡船場内にサイクリスト向け観光地区案内板を1基設置</li> </ul>	
(2) 脱炭素関連の イノベーションの 創出	①イノベーションの 創出に向けた 環境づくり	国際金融機能の誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際金融に特化したワンストップ窓口「Global Finance Centre」の運営</li> <li>・地場企業と海外投資家とのマッチングイベントを開催</li> </ul>
		実証実験フルサポート事業	令和4年度採択プロジェクト数:9件 ※脱炭素につながるテーマ以外のプロジェクト含む。
		福岡グリーンイノベーションチャレンジ	中小企業等によるカーボンニュートラルに資する製品開発等を支援 支援件数(補助事業):4件
		福岡市研究開発型スタートアップ成長支援事業	将来的に福岡市の経済をけん引する独自技術を持った研究開発型スタートアップ企業に対し、事業の推進に係る経費等を助成 採択件数:4件(うちグリーンテック枠2件)

2. 業務部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(3) 建築物の 省エネルギー化	①新築建築物の 省エネルギー化の 推進	省エネ性能向上計画	省エネ基準を上回る高い省エネ性能を有する建築物のエネルギー消費性能向上計画の認定 認定数:19件
		こども病院跡地活用の検討	跡地活用の事業者公募の評価基準の項目に「脱炭素社会の実現に関する取組み」を採用し、脱炭素化を誘導
		ゆめアール大橋跡地活用の検討	跡地活用の事業者公募の評価基準の項目に「環境負荷の低減や温暖化対策等、脱炭素社会の実現に寄与する環境への取組み」を採用し、環境への取組みを誘導
	②既存建築物の 省エネルギー化の 推進	事業所の省エネ支援事業(再掲)	※再掲 2-(1)-①
		事業所の脱炭素に向けた啓発・調査 (再掲)	「いつでも見られる省エネセミナー」として省エネ啓発動画を市HP上で発信
	③建築物の 緑化の推進	地区計画制度	「竹丘町三丁目地区」において、緑化率10%(例外あり)を設定した地区計画の策定
都心部のまちづくりの推進		天神ビッグバンボーナスや博多コネクティッドボーナスのアップデートを行い、民間ビルの建て替え時に「みどり」等の誘導を強化した。 ・天神ビッグバンボーナス認定:2件 ・博多コネクティッドボーナス認定:1件	
(4) 設備の 省エネルギー化	①省エネ設備の 新規導入・更新の推進	カーボンニュートラル資金 (商工金融資金)	カーボンニュートラル資金:新規1件
	②省エネルギー機器の 導入の普及啓発	事業所の省エネ支援事業(再掲)	※再掲 2-(1)-①
		事業所の脱炭素に向けた啓発(再掲)	※再掲 2-(1)-①
(5) 再生可能エネルギーの 利用拡大	①ビルや倉庫への 太陽光発電や蓄電池 導入の推進	事業所の脱炭素に向けた啓発・調査 (再掲)	※再掲 2-(1)-①

### 3. 自動車(モビリティ)部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1) 公共交通等の 利用	①公共交通を主軸 とした総合交通体系 づくりの推進	地下鉄七隈線延伸事業 【事業完了】	・令和5年3月27日七隈線延伸開業 ・延伸に伴い増備した新車両について橋本～天神南間にて運用を開始 ・地下鉄駅構内の情報発信コーナーや交通局ホームページなどを活用した情報発信(事業効果、進捗状況、 交通規制情報等)
		都心循環BRT	・都心循環BRTにおける利用状況の現地調査や市民利用意向を把握するためのWebアンケート調査を実施 ・バスレーン規制周知のためのチラシ配布
		バス利用環境等の改善 (上屋・ベンチ設置)	ベンチプロジェクト ・バス停付近のベンチ設置(民有地:4箇所、市有地:343箇所) ・交通事業者による上屋ベンチ設置 バス停の環境整備 道路管理者によるバス停上屋ベンチ設置 3箇所
		公共交通のバリアフリー化 (公共交通バリアフリー化促進事業)	ユニバーサルデザインタクシー 補助金交付:34台(累計315台)
		生活交通の確保	・市内5路線(今宿姪浜線、板屋脇山線、志賀島島内線、脇山支線、金武橋本線)に対し補助 ・オンデマンド交通社会実験の実施。
	②地下鉄車両の 更新・大規模改修	2000系車両大規模改修事業	地下鉄車両大規模改修時に、主回路制御装置、SIV装置、車内LED照明等の省エネ機器を導入 改修車両は2編成(21編成、23編成)
	③公共交通機関の 利用を促す啓発や きっかけづくり	モビリティ・マネジメントの実施	転入者モビリティ・マネジメント等の実施。
		パーク・アンド・ライドの推進	①商業施設と連携したパーク・アンド・ライドの推進 イオンモール香椎浜等8施設で継続実施 ②「はやかけん」を使ったパーク・アンド・ライド優待サービス 10駅13箇所(2021年3月末)
	④交通混雑緩和の推進	自動車専用道路の整備	福岡高速3号線延伸事業の推進 福岡北九州高速道路公社にて物件調査及び用地買収を実施
		幹線道路の整備	主要放射環状道路やそれにアクセスする幹線道路の整備 都市計画道路の整備率 85.0%(R4年度末)
		連続立体交差事業の推進	事業進捗率 事業進捗率 88.1%(R4年度末) (※参考:令和5年8月28日、西鉄天神大牟田線(雑餉隈駅～下大利駅間)の高架切替)
		フリッジパーキングの実施	フリッジパーキング 天神地区の交通混雑緩和に向け、通年で実施。天神に行く人の駐車場料金割引、乗車人数分の西鉄バス片道乗車券の 進呈 博多駅地区で住吉パーキングを対象に実証実験を実施。(12/23～1/9) 【対象駐車場(2022年度)】 天神北:ポートルース福岡第1立体駐車場、エフパーキング北天神 天神南:グランドパーキング 天神西:アキラパーキング

### 3. 自動車(モビリティ)部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(2) 公共交通等の利用	①自転車、徒歩などで移動しやすい環境整備	自転車利用環境の整備	自転車通行空間の整備 整備延長:約6.4km(累計約138.0km) 駐輪場の整備 整備台数:49047台(累計)
		誰もが安心して歩ける歩行空間の整備や通学路の安全対策	歩道設置率 27.7%(R4年度末)
	②移動を要しない環境づくり	行政手続きのオンライン化	オンラインで利用できる手続きの割合(年間処理件数ベース) 令和4年度末 92.1%
		法人等を対象とした地方税の電子申告及び納税の推進	・個人市民税(申告書)の電子受付の開始 ・市ホームページや市政だより等において周知、広報を実施 (参考)主な税目の電子申告利用率(令和4年度) 法人市民税 87.9% 個人市民税(給与支払報告書)64.9%
		コンビニエンスストアにおける証明書交付	令和4年度10~3月はコンビニ交付に係る手数料を一律100円へ減額、制度についての広報を実施 コンビニ交付件数:408,081通(有料全体の約27%)
		ICTを活用したお客さまサービスの向上	ウェブサイトから水道料金・使用水量の確認や口座振替及びクレジット継続払い利用促進のための広報を実施。水道料金システムの再構築については、昨年度に引き続きシステムの開発を実施。
埋蔵文化財手続きのDX化	・スマート申請の割合 令和3年度 16.3%、令和4年度 26.5% ・窓口件数の削減割合(月平均件数の前年比増減率) ▲7% ※令和3年度 1,366件、令和4年度 1,269件		
(3) 自動車の脱炭素シフトの推進	①電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の導入推進	次世代自動車の普及促進事業	次世代自動車展示会(7/17実施)と次世代自動車展示・試乗会(10月29、30日実施)の開催
		次世代自動車の普及促進事業	電気自動車等の購入に関する費用の一部を助成 電気自動車等購入助成:505台 法人に対し、燃料電池自動車の購入経費の一部助成:2台
		次世代自動車の普及促進事業	法人に対し、燃料電池自動車の購入経費の一部助成:2台
	②充電・充てんインフラ整備の推進	次世代自動車の普及促進事業	電気自動車用急速充電設備設置に関する費用の一部を助成 電気自動車用急速充電設備設置助成:7基
		水素リーダー都市プロジェクト	下水バイオガス由来水素ステーションについて、福岡市と地元民間事業者等5社による新協議会を発足し、共同運営を開始
	③物流分野などでの脱炭素化の推進	水素リーダー都市プロジェクト	給食配送車やパッカー車、救急車のFC化に向けた検討を実施。
博多港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた検討		カーボンニュートラルポート形成に向けた取組みについて検討を行った。	
(4) シェアリング等の推進	①シェアリングサービスの利用推進	次世代自動車の普及促進事業	EVカーシェアリングの実施に向け、民間事業者への聞き取り調査を実施。
		「はやかけん」を使ったレール&カーシェアサービス	「はやかけん」を使ったレール&カーシェアサービス 5駅11箇所(2023年3月末)
		宅配ボックスの導入助成	再配達抑制と受取の非接触化につながる宅配ボックスの購入費用を助成 助成件数:675件
		福岡スマートシェアサイクル事業「チャリチャリ」	シェアサイクル(チャリチャリ)の市内ポート設置数:618か所

4. 廃棄物部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1) 廃棄物の減量	①プラスチックごみの削減	福岡市マイボトル協力店制度	登録店舗数73店舗(R4年度末時点)
		給水スポットの設置	新たに、さいとぴあ、さざんぴあ博多、コミセンわじろ、南市民センター、藤崎バス乗り継ぎターミナル、福岡市立中央児童会館「あいくる」に設置(令和4年度末時点 計17施設) イベント等で活用できる可搬式給水スポット1台を導入
		イベント等でのワンウェイプラスチックの削減推進	イベントにおけるワンウェイプラスチック削減のための情報をまとめたリーフレットを作成し、市の登録業者や福岡市内のイベントスペース管理者に配布した他、HPで周知
	②バイオマスプラスチックなど代替素材への転換の促進	ごみ袋へのバイオマス素材の導入	①ラブアース・クリーンアップ(バイオマス25%以上) 【作製枚数】透明袋:36,000枚 ②地域ぐるみ清掃(バイオマス25%以上) 【作製枚数】透明袋:98,400枚 ③環境美化袋(バイオマス25%以上) 【作製枚数】燃えるごみ:60,000枚 家庭ごみ指定袋のうち、燃えるごみ用45L(取手あり)1,000万枚を製造。令和5年2月より流通開始
	③食品ロス削減の推進	家庭での食品ロス削減	①出前講座 33件1,385名 ②フードドライブ回収量 1,942個504.4kg ③家庭で廃棄する未使用の食品や食べ残しを記録する「食品ロスダイアリー」を小学4年生へ配布(約16,000部) ④食品ロス削減モニター 参加者227名
		フードバンク活動推進事業	フードバンクを活用した食品ロス削減啓発事業 ①食品ロス削減説明会の実施(17社21名参加)
AI・ICTを活用した食品ロス削減		気象予測にもとづいた福岡市版需要予測情報活用による食品ロス削減 ①市内事業者へ商品需要予測サービスの案内 ②食品ロス削減説明会の実施(17社21名参加)	
(2) 資源の有効活用	①プラスチック資源循環に向けた取組みの推進	プラスチック回収モデル事業	プラスチック製品回収モデル事業を実施(回収場所:市内9か所の資源物回収ボックス) 回収量:12t
		3R推進事業(製造メーカーによる自主回収の支援)	製造メーカー(ユニリーバ、ファンケル)の自主回収について広報を行った。 「プラスチック資源循環促進法」の施行(令和4年4月1日)に併せ小売事業者9社と共同啓発を実施した。
		新たなペットボトルリサイクルの仕組み検討	令和5年度に回収するペットボトルの全量を試行的にボトルtoボトルリサイクルすることとし、事業者を公募・選定した。
	②食品廃棄物の資源化の推進	生ごみリサイクル推進事業	①生ごみ堆肥を使った菜園講座 実施回数:9回 参加人数:103人 ②初心者を対象とした段ボールコンポスト使い方講座 実施回数:6回 参加人数:77人 ③一人一花運動と連携した、緑のコーディネーター、一人一花ボランティア花壇管理団体向けの生ごみ堆肥づくり研修会 実施回数:4回 参加人数:42人
		事業系食品廃棄物の資源化推進	収集運搬許可業者が実施した排出事業者向けアンケート調査において、食品廃棄物資源化施設のチラシを配布した。
	③環境配慮型商品の普及促進	環境配慮型商品の広報	小学4年生向け社会科副読本「ごみとわたしたち」16,700部配布
④廃棄物処理施設の脱炭素化に関する調査・検討	先進事例調査	清掃工場から排出される二酸化炭素の分離回収・活用について、小田原市の分離回収装置を視察し、情報収集を行った。	
(3) 廃棄物埋立技術の国際貢献	①技術協力による海外の脱炭素化への貢献	準好気性埋立構造「福岡方式」の普及・導入による環境分野の技術協力	ミャンマー・ヤンゴン市への技術支援(国連ハビタットとの共同事業はR4年度末で終了) 国際視察・研修受入 ・海外技術者等への研修 404名 ※オンライン研修, 下記視察・研修受入含む ・海外視察受入:6か国、49名 JICA研修受入:8か国、13名
(4) フロン類の適正管理	①適正廃棄の啓発、適正回収の確認	自動車リサイクル法に基づく適正なフロン回収	自動車リサイクル法に基づく適正回収の確認 立入件数:44件



6.炭素吸収施策

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1) 森林等の 保全・再生	①森林の整備の推進	森林環境整備事業	間伐:40.70ha
		市営林造林保育事業	保育間伐等 96.46ha
		市内水源かん養林整備事業	水源かん養林整備 育林整備 76ha(下刈13ha 除伐33ha 間伐30ha) 水源林ボランティアによる整備活動 回数 45回 参加延べ人数 600人
		市外水源かん養林整備支援事業	市外水源かん養林整備支援(糸島市・那珂川市) 下刈・間伐15.48ha 市外水源かん養基金支援事業(朝倉市・東峰村) 下刈り・間伐・造林125.82ha 水源地域との交流事業 事業回数 4回 参加延べ人数 579人 福岡市市民団体水道水源かん養等活動助成金事業 事業回数 2回 参加延べ人数65人
		主伐推進事業	主伐:3.08ha 森林作業道作設:800m 造林:2.70ha
		森林・山村多面的機能発揮対策交付事業	活動団体 4団体
		森林経営管理制度推進事業	意向調査 521件(853筆)
		ボランティア体験プログラム「ハジメのイッポ」	森林保全等のプログラム:プログラム数 5 参加者数 13人
		福岡市水源の森づくり共働事業	企業ボランティア協定数 3団体 面積 計6.9ha
	②クレジットの活用	森林によるカーボン・オフセット推進事業	売却量:74 t-CO2
	③森林に親しむ 環境づくり	市民の森管理費	油山市民の森 施設利用者数:172,001人
		油山市民の森等リニューアル事業	R4.4 基本協定の締結 R4.9 事業実施協定の締結、設計施工一括契約の締結、指定管理者の指定
		森の恵み体験活動	森のワークショップ:3回 森の恵みクラフト体験会:4回 生きものと私たちの暮らし展(生物多様性に関するパネル展):1回 オンライン自然観察会:2回
	④農地土壌への 炭素貯留などの 推進	環境保全型農業直接支払交付金事業	生物多様性保全等に効果の高い営農活動に対する支援を行った。 ・事業実施主体:農業者団体1団体(市内農地での取組農家20戸) ・取組内容:化学肥料、農薬の5割低減の取組とセットで実施する

6.炭素吸収施策

方向性	取組	事業名等	取組内容
(2) 木材利用	①木材利用の啓発	地域産材利用促進事業	・早良区役所1階窓口カウンター木質化 ・城南区保健福祉センターふれあい広場木質化 ・南区役所1階子育て支援課窓口カウンター木質化 ・東区役所1階総合案内カウンター等木質化
		ウッドベンチ利活用事業	・ウッドベンチの製作・設置 10基 ・ベンチを福岡タワー等に設置するとともに、木材利用の促進や森林の有する多面的機能を普及啓発するための市民向けイベントを実施
		子育て支援課内相談室(心理面接室)の設置	城南区役所1階の子育て支援課内に福岡市産木材を使用した相談室(心理面接室)を設置するとともに、相談室周りの壁およびパーテーション等に木質パネルを貼付し、木のぬくもりが感じられる空間づくりを行った。
		庁舎内の木質化	早良区役所1階の福祉・介護保険課、子育て支援課窓口カウンターの木質化を実施 城南保健所ふれあい広場及び城南保健所階段手摺の木質化を実施
	②安定的な木材利用の仕組みづくり	林業資源ビジネス化プロジェクト	利用間伐:12.12ha 森林作業道作設:2,831m
(3) みどりあふれるまち並みの形成	①公共用地や民有地の緑化の推進	身近な公園整備事業	身近な公園整備:4公園
		公園再整備事業(公園再整備事業)	公園再整備:16公園
		緑化推進事業	街路樹再整備:3路線
		地区計画制度(再掲)	※再掲 2-(3)-③
		都心部のまちづくりの推進(再掲)	※再掲 2-(3)-③
(4) ブルーカーボンの創出	①藻場の保全・再生	海の森づくり事業	藻場の状況調査、海藻の種系等の設置
		豊かな海再生事業(藻場造成事業)	食害防止ネット 点検・補修、追跡調査
	②生育環境の調査・把握	水質監視	・水質汚濁防止法に基づき海域の水質モニタリングを実施し、環境基準の達成状況を把握(環境基準点8地点で月1回、補助地点3地点で年4回) ・ホームページや年次報告書等により結果を公表
		博多湾環境保全計画の推進	生物指標モニタリング調査 藻場分布状況調査 貧酸素発生状況調査(5~11月) 16地点中10地点で発生
③アマモ場づくり活動の推進	博多湾の環境保全創造事業	・今津や志賀島でアマモ種子散布を行う等、多様な主体と共働したアマモ場づくり活動を実施。 ・博多湾のアマモ場等によるR3年度のCO <sub>2</sub> 吸収量をクレジット化し販売(45.9t-CO <sub>2</sub> )。販売収益をアマモ場づくり活動等の取組みに活用。	

7.適応策

方向性	取組	事業名等	取組内容
(1) 自然災害・ 沿岸域	①浸水対策	「雨水整備Doプラン2026」 「雨水整備レインボープラン天神」	・「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業 雨水管の整備(中部6号幹線等) ・「雨水整備Doプラン2026」 雨水管や側溝等の整備(4地区完了)
		流域貯留浸透事業 (那珂川流域、樋井川流域) 雨水貯留施設整備事業	地質調査、測量、設計、治水池整備等
		雨水流出抑制対策の推進	本市所管の公共施設を対象とした雨水流出抑制を推進
		河川改修事業	護岸工(周船寺川L=22m、金屑川L=49m)、 測量、設計、補償 等
		局地的豪雨対策緊急事業	根継工(大谷川L=35m)
		雨水流出抑制施設助成制度	雨水貯留タンク:42件
	②避難行動の周知	ハザードマップ(洪水、内水、土砂災害、高潮、津波)の提供、ハザードマップの多言語化	・土砂ハザードマップの修正・印刷・配布 ・洪水・高潮ハザードマップの増刷 ・総合ハザードマップの保守
		出前講座や市政だより、各種イベント	・出前講座(実施回数:81回、参加人数:2,943人(R4年度)) ・市政だより(6/1号)、福岡市防災フェア等を通じて、適切な避難行動についての知識の普及・啓発
		防災情報システム	・観測機器の運用保守 ・福岡市防災気象情報ホームページの保守
		避難場所標識	避難場所標識看板について、未設置施設に対し設置(令和4年度は4箇所4枚を設置)
		地下鉄駅の避難誘導プラカード	令和元年に4ヶ国語について全駅対応済みで、令和4年度七隈線延伸開業に伴い新駅として開業した櫛田神社駅にも設置
	③土地災害の防止	林道保全事業	林道防災工事 林道4路線 775m
		市営林造林保育事業 林業資源ビジネス化プロジェクト	(市営林造林保育事業) 保育間伐等 96.46ha (林業資源ビジネス化プロジェクト) 利用間伐 12.12ha、森林作業道作設 2,831m
		市外水源かん養林整備支援事業 市内水源かん養林整備事業 水源林ボランティア共働事業 企業との共働事業	市外水源かん養林整備支援(糸島市・那珂川市) 下刈・間伐15.48ha 市外水源かん養基金支援事業(朝倉市・東峰村) 下刈り・間伐・造林125.82ha 市内 76ha(下刈、間伐、伐竹) 水源林ボランティア 活動回数45回、参加延べ人数600人 企業ボランティア協定数3団体、整備面積計6.9ha
	④高潮・波浪など 海岸災害の対策	海岸整備事業	和白護岸 護岸改良 L=135m、仮設工 1式
		松くい虫防除による住環境保全対策 事業	① 伐倒駆除:1,458本(春期・秋期・冬期) ② 薬剤地上散布:100.96ha ③ 樹幹注入:519本

7.適応策

方向性	取組	事業名等	取組内容
(2) 健康	①熱中症予防に関する注意喚起	熱中症対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福岡市温暖化対策推進会議」にて、全庁へ熱中症対策の取組み実施を依頼</li> <li>・暑さ指数予測、救急搬送者数、予防方法、対処方法等をホームページや市LINE、防災メールにより情報発信 ※暑さ指数予測最高値31以上の場合：市LINE、防災メールにて注意喚起発信（前日17時30分、当日7時30分）</li> <li>・ツイッター、フェイスブックによるタイムリーな注意喚起を実施</li> <li>・オリジナルリーフレット等啓発品を配布</li> <li>・街頭ビジョン、庁内施設（区役所）ディスプレイでの動画放映</li> <li>・市政だよりによる高齢者への注意喚起</li> <li>・民生委員や社会福祉協議会を通じた高齢者へのチラシ配布</li> <li>・校区社協ボランティアに暑さ指数計を提供することで、高齢者見守り活動時における予防行動の声かけを支援</li> <li>・出前講座を実施</li> <li>・乳幼児健診時に予防啓発、応急手当の講習などの実施</li> <li>・市民体育館、児童福祉施設、市立学校、障がい者施設や介護保険関連事業所等へ注意喚起</li> </ul>
	②感染症予防に関する注意喚起	感染症にかかる情報提供	蚊が媒介する感染症について、ホームページを利用し、注意喚起を実施。
	③大気汚染物質のモニタリング	大気監視 黄砂・微小粒子状物質(PM2.5)対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染防止法に基づき、大気汚染物質の常時監視を実施し、環境基準の達成状況を把握。</li> <li>・ホームページや年次報告書等で、調査結果を公表</li> </ul>
(3) 農業・林業・水産業	①気温上昇に適応した農業経営の推進	農業指導センターの活動	高温障害耐性を有する品種「実りつくし」への転換推進 高温障害対策について、県、JAと協議し、「稲作だより」にて周知
		都市近郊野菜産地等整備事業 園芸施設整備事業 畜産環境整備経営対策事業	省力栽培温室等の整備 遮光フィルム資材の整備 機械設備の整備
		アグリDXプロジェクト(スマート農業推進)	農業用ドローンによる肥料散布実証実験、防除履歴システム使用料の助成、スマート農業に関する農業者向けの情報発信
	②林業の振興	森林環境整備事業(再掲)	※再掲 6-(1)-①
		森林経営管理制度推進事業	※再掲 6-(1)-①
		松くい虫防除による住環境保全対策事業	① 伐倒駆除：1,458本(春期・秋期・冬期) ② 薬剤地上散布：100.96ha ③ 樹幹注入：519本
	③藻場の保全	豊かな海再生事業(藻場造成事業)(再掲)	※再掲 6-(4)-①
海の森づくり事業(再掲)		※再掲 6-(4)-①	

7.適応策

方向性	取組	事業名等	取組内容
(4) 水環境・水資源	①河川、海域等の環境モニタリング	河川・海域の水質モニタリングを行い、環境基準の達成状況を把握します。また、その結果を市ホームページなどで情報発信します。	・水質汚濁防止法に基づき、河川・海域の水質モニタリングを実施し、環境基準の達成状況を把握。 ・ホームページや年次報告書等により、調査結果を発信。
		「博多湾環境保全計画」に基づき、貧酸素発生状況や生物指標を調査し、その結果を市ホームページなどで情報発信していきます。	博多湾環境保全計画に基づく環境モニタリング調査の実施と調査結果の情報発信
		水質検査	・水質検査計画に基づき、水源であるダム及び河川の水質検査を実施 ・ホームページや年次報告書により、検査結果を公表
	②水資源確保	福岡地区水道企業団からの受水(海水淡水化センター等)	受水量：年間50,559,600m <sup>3</sup> (一日平均138,519m <sup>3</sup> )
		市外水源かん養林整備支援事業 市外水源かん養基金支援事業 福岡市市民団体水道水源かん養等活動助成金事業	市外水源かん養林整備支援(糸島市・那珂川市) 下刈・間伐15.48ha 市外水源かん養基金支援事業(朝倉市・東峰村) 下刈り・間伐・造林125.82ha 市民団体による植樹や交流等に助成を行う。実施件数2件
		配水調整事業	中央監視装置の機能維持工事および遠方監視制御装置の計画的な更新を実施(更新15箇所)
		漏水防止事業	漏水調査延長：2,968km(うち漏水発見403件) 電気防食保守点検：177箇所 電気防食対策工事：2箇所 漏水防止給水管取替工事：1,320件
		浸透施設の導入	透水性舗装等：60,058m <sup>2</sup> 浸透側溝等：1.7km
	③節水や水の有効活用の推進	節水機器の普及啓発 「水をたいせつに」広報の推進	水道局ホームページにて上手な節水方法を紹介 博多駅へのブース出展、ポスター掲示やSNSなどを通じて、節水啓発活動を実施。 水の大切さをテーマにした絵画コンクールを実施し、小学生向け社会科副読本「水とわたしたち」、広報紙「みずだより」を発行。
		再生水利用下水道事業の推進	全体供給区域：1,528ha(中部地区：1,020ha、東部地区：508ha) 箱崎地区33haを追加 供給箇所数：511箇所(10箇所増)
		雨水流出抑制施設助成制度(再掲)	※再掲 7-(1)-①

7.適応策

方向性	取組	事業名等	取組内容
(5) 自然生態系	①自然環境調査	博多湾環境保全計画の推進 自然環境調査	・博多湾環境保全計画に基づく環境モニタリング調査の実施と調査結果の情報発信 ・ほ乳類等調査の実施と調査結果の情報発信
		自然環境調査(再掲)	・アライグマ生息調査の実施と調査結果の情報発信 ・アライグマ捕獲従事者講習会の実施 1回37名参加 ・特定外来生物に対する相談対応 相談件数:83件 ・特定外来生物に関する情報発信 ・外来生物問題連絡会議の開催 幹事会:1回開催
	②自然環境の保全	生物多様性ふくおか戦略の推進	森の恵み体験活動 ・森のワークショップ:3回 ・森の恵みクラフト体験会:4回 ・生きものと私たちの暮らし展(生物多様性に関するパネル展):1回 ・オンライン自然観察会:2回 ふくおかレンジャー ・養成講座(自然観察会含む):7回 里海保全再生活動 ・カブトガニ卵塊幼生調査 ・保全活動:1回 ・環境学習:2回 ・今津干潟で活動している団体による情報交換会:1回
		環境影響評価の推進 福岡市環境配慮指針の適切な運用	・西部工場建替事業方法書に対する市長意見の送付 ・事後調査報告書審査 4件 ・各種開発事業の許認可等に際した意見提出 153件 ・環境に影響を及ぼすおそれのある事業への環境配慮の促進 4件
		森林経営管理制度推進事業(再掲)	※再掲 7-(3)-②

7.適応策

方向性	取組	事業名等	取組内容
(6) 経済活動・ 市民生活	①経済活動の機能不全 への備え	備蓄促進ウィーク	事業に賛同した企業23社の各店舗等(計257店舗等)に対して、防災グッズや備蓄食品などの販売コーナーの設置やポスター掲示などを協力依頼
		災害時応援協定	災害時に必要な応援協定の締結 物的支援:4件、人的支援:1件、帰宅困難者支援:4件を締結
		ホームページ等による啓発	市HPIにBCPの概要やBCP策定に役立つ参考リンク先を掲載
		緊急輸送道路の整備	地震や台風などの災害時において、円滑な人命救助や物資輸送路の確保を目的として、緊急輸送道路の整備(拡幅、橋梁の耐震補強など)を推進 【R4年度の実施内容】千代今宿線(興徳寺橋):橋梁耐震補強工事
		無電柱化の推進	・福岡市無電柱化推進計画(R3~R7)の推進 ・電線共同溝等の整備 無電柱化整備延長(R4年度末):155.6km
	②ライフラインの確保	住宅用エネルギーシステム導入促進事業(再掲)	※再掲 1-(3)-②
		次世代自動車の普及促進事業(再掲)	※再掲 3-(3)-①
		出前講座	災害による停電時の電源供給につながる再生可能エネルギーや電気自動車のメリットなどを出前講座で広報
		事業所の脱炭素に向けた啓発(再掲)	市HPIに国等の補助金制度の概要を掲載
		無電柱化の推進(再掲)	※再掲 7-(6)-①
		災害時の電力確保	・可搬型外部給電器(7台)の購入 ・庁用車として各区に1台ずつ、PHEVを導入
		重要施設の耐水化	・災害対策本部や配水調整システム等の重要機能を継続させるため、水道局本庁舎について、止水板等の設置によるリスク軽減策を実施
	③災害ごみの処理	災害廃棄物対策	災害廃棄物処理対応研修の実施
		災害廃棄物対策	災害廃棄物処理計画の改定(R4.4)
	④ヒートアイランド現象 の緩和	緑化の推進	街路樹再整備:3路線
		地下鉄七隈線延伸事業(再掲)	※再掲 3-(1)-①
	⑤住宅での暑さ対策	緑のカーテンプロジェクト	・市民や事業者の取組みを募集し、優れた作品を表彰する緑のカーテンコンテストを実施 緑のカーテンコンテスト応募件数:89件 ・緑のカーテン実施市有施設数:207施設
		国等の補助金制度の情報提供等	・市HPIに国等の補助金制度の概要を掲載 ・「住宅窓改修の手引き」を活用した広報